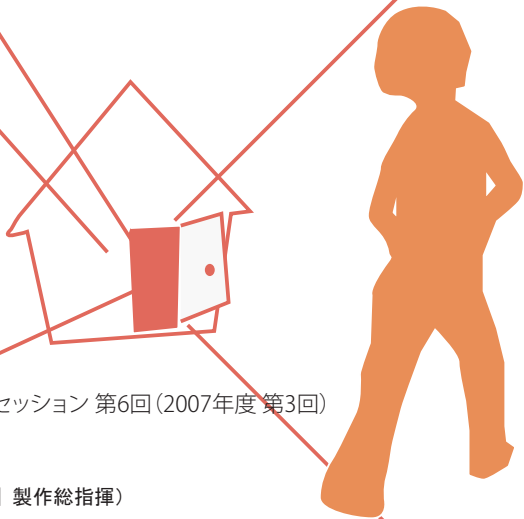


「障害者の自立生活」が問いかけるもの —「収容」に抗う闘いの記録—

- 日時：2007年 12月 19日(水) 15:15～18:30
- 場所：関西学院大学 上ヶ原キャンパス 図書館ホール

(村上桂太郎監督作品)
を観る



今の世界の「人権」を考えるフィルムセッション 第6回(2007年度 第3回)

- トーカー：
福永 年久 (『こんちくしょう』製作総指揮)
村上 桂太郎 (『こんちくしょう』映画監督)
大樫 裕子 (関西学院大学 キャンパス自立支援課)
- ナビゲータ：
阿部 潔 (関西学院大学 社会学部)

一般公開・参加無料

「健常者」とは異なる存在とされる「障害者」は、支援や介護の対象とされることはあるが「自立」の主体とみなされることは、実のところかぎりなく少ないのではないだろうか。だが、長年にわたり「障害者の自立」の獲得を目指して運動/実践を繰り広げてきた人々がいる。今から40年前、制度も何も存在しなかった時代に、世間から加えられる差別の眼差しや行政からの収容の圧力に抗いながら、生きる＝闘ってきたものたちの姿を通して、現代社会における「自立」について問いかける機会を持つ。

お問い合わせ

関西学院大学人権教育研究室
Tel. 0798-54-6720
E-mail. masahi@kwansei.ac.jp